

校長室より

「天空高き」



第125号



令和元年9月17日

自分の色で、挑戦！」—これから求められる力—

昨年スタートし、世間で話題となった京都大学の「特色入試」。昨年（上）に続き、今年もインパクト大な特色入試ポスターです。

「特色入試」は、社会で活動できる人材や世界を牽引するグローバルリーダーを育成することを目指して設けられた入試制度です。高校での学びや課外活動における成果をはじめ、志願する学部に必要な基礎学力や熱意を総合的に評価する推薦入試になっています。

選抜方法は学部・学科によって異なりますが、基本的に下記の2つの判定を行います。

1. 高等学校での学修における行動と成果の判定
2. 個々の学部におけるカリキュラムや教育コースへの適合力

私なりに特色入試を方程式に表すと、

「特色入試」＝「学力」＋「学びの足跡」＋「学びの意欲」になります。

特色入試が一般入試と大きく異なる点は、なんとと言っても「学力だけではない！」ということです。

高い学力を有していても、特色入試はそれだけでは受験資格がありません。必要なのは、「特色」です。

では一体どんな特色が必要なのでしょう。

例えば、好きなことをとことん追究した経験でも、気になったことをとことん掘り下げた経験でも、「このことならいくらかでも話すことができる！」というものがある人は、特色入試の資格を有しているかもしれません。

2つの判定基準を少し詳しく説明しましょう。

ダメなときは「すみません」って言えばいいのではないのでしょうか。

樹木希林

意欲 買います。 京都大学
[京大方式特色入試] がスタート

京都大学は、国際教育から大学教育への領域を切り、
一歩先へ人材育成を進めるため、高校での学修に
加えて行動や経験、および様々な学部の熱意を評価
する新たな入試方式に、特色入試を創設しました。
[京大方式特色入試]も今年から導入します。

特招入試について詳しくは
京都大学 教育情報部・学生支援課 入学課 山崎 浩一
担当までお問い合わせください。
http://www.kyoto-u.ac.jp/kokushoku/

京都大学
KYOTO UNIVERSITY

翔び立て、未来へ
意欲でチャレンジ！
京都大学 特色入試

京都大学特色入試は、国際教育から大学教育への領域を切り、
一歩先へ人材育成を進めるため、高校での学修に
加えて行動や経験、および様々な学部の熱意を評価
する新たな入試方式に、特色入試を創設しました。
[京大方式特色入試]も今年から導入します。

特招入試について詳しくは
京都大学 教育情報部・学生支援課 入学課 山崎 浩一
担当までお問い合わせください。
http://www.kyoto-u.ac.jp/kokushoku/

京都大学
KYOTO UNIVERSITY

1. 高等学校での学修における行動と成果の判定

すなわち「学びの足跡」は、「調査書」に加え「学業活動報告書」や「推薦書」で提出します。そこには、出願者の高等学校在学中の顕著な活動歴を記し、志願者が受験科目以外にどういったことを学んできたか、どういった活動を実践してきたかを大学側は見ます。

例えば、昨年度の傾向として、各学部ともに、生徒会活動、クラブ活動、留学経験、ボランティア・・・といった、より身近なエピソードを提出書類に記載していた受験生が多かったようです。皆さんの日頃の活動履歴が問われるということになります。

2. 個々の学部におけるカリキュラムや教育コースへの適合力

すなわち「学びの意欲」は、「学びの設計書」で、志願者の学び意欲や志をチェックします。さらに、志願者が作成する「学びの設計書」等をもとに、高等学校での活動内容から京大で何を学びたいのか、卒業後どういった仕事に就きたいのかといった、志願者自らの学び意欲や志についての書類審査を通じて評価します。

京都大学の特色入試は、基礎学力に加え、これまでの経験値と、学びに向かう意欲などの学力試験だけでは測れない能力を求めているということでしょうか。

変化の激しい、予測できないこれからの社会では、「最終学歴社会」どこの学校を出たかという偏差値より、「最新学習歴社会」勉強に学校行事に部活に一生懸命に取り組む中で、自分が失敗から何を学んだかという、経験値がとても重要になってきます。答えが一つでなく、正解のないこれからの社会では、チャレンジし続け、たとえ失敗しても失敗から学ぶ力が求められています。

9月の月間目標

One for all, All for one

令和元年度
チャレンジ目標

- 1 挨拶 先に明るく元気に
- 2 先を見据えた行動 5分前行動
・登下校のマナーに心掛ける
- 3 整理整頓
- 4 1%を誰かのために

「One for all, All for one」、「一人はみんなのために、みんなは一つの目的のために」。

一つの目的を達成するためには、一人ひとりがしっかり自分の役割を果たすことが大事です。

2学期は運動会に始まり楽学祭、インターンシップ(F2)、修学旅行(S1)などの学校行事があります。集団行動においては、まずルールを守ることが大切ですが、特に場所や状況が変わったら、臨機応変に判断し、その場に合った適切な行動をとれることです。そして、これらの学校行事を通して一人ひとりが良い人間関係を築いてください。皆さんの「頑張り」に期待します。

ちょっとした心遣いー常識と良識ー

剣道場前にある自動販売機にある回収箱です。見ての通り、残念ながらペットボトルとキャップが分別されていません。その横にキャップ回収箱があるにもかかわらずです。

飲んだ後のペットボトルを回収箱に入れているので、「常識」のある行動です。しかし、リサイクルの意識が高ければ、きっと分別してそれぞれの回収箱に入れていたはず。それが「良識」ある行動です。

広辞苑を引くと、「常識」とは、「普通、一般人が持ち、また、持っているべき知識」。それに対して、良識とは、「社会人としての健全な判断力」とあります。

常識と良識の違いは、「常識」は社会、国や時代によって変わってきます。それに対して、「良識」は、社会、国や時代を問わず不変である、ということになります。

これからの時代、政治、経済、社会面を含むあらゆる分野でしっかりとした考え、見方が皆さんに求められます。良識ある行動を身に付けるために、ちょっと立ち止まって冷静に公平に判断する習慣を身に付けてください。



豊かな人間性を発揮してー第 12 回運動会ー

昨年は雨の中での運動会でしたが、今年の運動会は比較的天候に恵まれ、無事盛大に実施することができました。また、PTAの有志の方々にも駐車場の誘導をお引き受けいただき、ありがとうございました。

今回の運動会でも皆さんから多くのことを学び、たくさんの感動も届けてもらいました。

学校というところは、教育の場です。我々教員は、生徒の皆さんを教育する立場にありますが、同時に生徒の皆さんから逆に学ぶこともたくさんあります。特に運動会や楽学祭などの学校行事がそうです。

今回の運動会では、皆さんから仲間を大切に思いお互い協力して助け合う姿、中学生の団体演技での瑞々しい感性、そして学年、各色対抗リレーでは最後まであきらめずに全力で走りきる様子は、我々だけでなくご観覧の皆様も大変感動されたと思います。

私は午後の挨拶の中で、近代オリンピックの生



みの親、クーベルタン男爵は、「オリンピックは勝つことではなく、参加することに意義があり、人生において重要なことは、成功することではなく、努力する過程にある」という言葉を引用しました。まさに、その努力する過程を今回、皆さんから競技や演技から垣間見させてもらいました。

変化の激しいこれからの社会を生きるために、確かな学力、豊かな人間性、健康・体力の知・徳・体をバランスよく育てることが大切です。特に、今の社会に求められているのは、豊かな人間性をどのように育てるかが課題となっています。

私は毎年の運動会を通して、皆さんがいろいろな場面で、それぞれの状況下で、一人ひとりが見事に対処、対応していることに、驚かされると同時に感心させられます。皆さんが社会に出ても、このような経験があれば、困難な状況に直面しても、きっと正々堂々と毅然とした姿勢、態度で対応できることでしょう。

第11回楽学祭が20日～21日に開催されます。皆さん一人ひとりがそれぞれの役割を演じ、素晴らしいパフォーマンスをクラス、学年やクラブで、大いに発揮してくれることを期待します。

秋の始まりに

この問題は小学生でも解答できる問題です。秋の気配が漂ってきました。朝晩の涼しい時にチャレンジしてください。

問題 「ここに火をつけてから丁度1時間で燃え尽きる蚊取り線香が2つあります。この蚊取り線香を使って正確に45分計りたいとき、どうすれば良いでしょうか？説明してください」（解答はこのページの最後にあります）

24節気

白露（はくろ）9月8日頃

草の葉に白い露が結ぶという意味。夜の間には大気が冷え込み、草花に朝露が宿ることから名づけられたのでしょう。秋が深まり、草花に朝露が付きはじめる頃という意味です。空は高くなり、秋雲がたなびくようになり、本格的な秋の到来です。また、実りの秋を前に台風が心配な時期でもあります。

秋分（しゅうぶん）9月23日頃

春分と同じく、太陽が真東から昇って真西に沈み、昼と夜の長さがほぼ同じになります。極楽浄土があるという真西に太陽が沈むことから、亡くなった人をしのぶ日とされています。この日を境に日が短くなり、秋の夜長に向かいます。秋分の日には彼岸の中日で前後3日間を秋彼岸といい、先祖のお墓参りをする習慣があります。「祖先を敬い、亡くなった人をしのぶ日」として国民の祝日になっています。

（解答）片方の蚊取り線香は両端から火をつけ、もう片方は片端に火をつける。30分たつと両端に火がついたほうが燃え尽きるので、そこで片端だけ火をつけた方の火がついてない端に火をつける。